

ServiceManager 構成ガイド

Ver. 1.0

1. はじめに

1.1. 本文書の目的、位置付け

本文書はServiceManagerのご利用を簡単に開始して頂くことを目的とした、ServiceManagerの構築方法についての説明書です。

1.2. 事前にご用意頂くもの一覧

項目	内容
ECL2.0のお申込み	お申込みが完了
仮想サーバ	GUI管理ツール用に1台（メモリ2GB以上）、DBクラスタ用に1台または3台以上（メモリ8GB以上）を推奨。下記「仮想サーバ上のユーザー」で初回sshログインを済ませてある必要があります
OS	CentOS 7.3以上
python	上記OSに標準で搭載されているもの
仮想サーバ上のユーザー	rootまたはsudo権限を持っている一般ユーザー（ただしパスワードなしでsudoを実行可能な状態である必要があります）

2. 構築手順

2.1. ライブラリのインストール

2.1.1. pip インストール

Pythonパッケージ管理システム「pip」のインストールスクリプトを以下のURLからダウンロードし、スクリプトをpythonで実行してください。

URL : <https://bootstrap.pypa.io/get-pip.py>

スクリプト実行 :

```
> sudo python get-pip.py
```

2.1.2. pipによるその他pythonモジュールのインストール

以下のコマンドでpythonモジュールをインストールしてください。

```
> sudo pip install tornado==4.5.3
```

```
> sudo pip install pyyaml==3.12
```

```
> sudo pip install pytz==2018.3
```

```
> sudo pip install selenium==3.9.0
```

```
> sudo pip install requests==2.18.4
```

```
> sudo pip install bcrypt==3.1.4
```

```
> sudo pip install cassandra-driver==3.14.0
```

※ご用意いただいた環境によっては、既にインストール済みの可能性もございます。
その場合は上記コマンドでのインストールは不要です。

2.1.3. pip経由以外のライブラリインストール

2.1.3.1. linux版FireFoxのインストール

FireFox公式サイトよりlinux版FireFox（日本語、64bit）のアーカイブをダウンロードし（バージョンは58以上）、任意のパスで展開してください(下記の例ではpkgディレクトリに展開)。

```
> tar -xvf firefox-58.0.2.tar.bz2 -C pkg/
```

2.1.3.2. geckodriver のインストール

geckodriverのアーカイブを下記のURL先からlinux版64bitをダウンロードし（バージョンは0.19以上）、任意のパスで展開してください(下記の例ではpkgディレクトリに展開)。

URL: <https://github.com/mozilla/geckodriver/releases>

```
> tar -xvzf geckodriver-v0.19.1-linux64.tar.gz -C pkg/
```

2.1.3.3. その他ライブラリのインストール

以下のyumコマンドを実行し、ライブラリをインストールしてください。

```
> sudo yum install gtk3-3.22.26-3.el7.x86_64
```

```
> sudo yum install libXt-1.1.5-3.el7.x86_64
```

```
> sudo yum install ansible.noarch 0:2.4.2.0-2.el7
```

2.2. ServiceManagerパッケージアーカイブのインストール

ServiceManagerのパッケージアーカイブServiceManager_v1.0.tar.gzをご用意いただいた任意のパス（例では/home/uls）に配置し、tar -zxvfで展開してください。

```
> cd /home/uls
```

```
> tar -zxvf ServiceManager_v1.0.tar.gz
```

2.3. 設定

/etc/ansible/ansible.cfgの[ssh_connection]のブロックに以下の設定を記載してください。（ssh_argsは一行で記述してください）

```
[ssh_connection]
```

```
ssh_args = -o ControlMaster=auto -o ControlPersist=60s -o
```

```
StrictHostKeyChecking=no -o UserKnownHostsFile=/dev/null
```

2.2 で展開されたディレクトリに移り、テキストエディタでconfig.pyを新規作成してください（例はviを使用）。

```
> cd /home/uls/ServiceManager/
```

```
> vi config.py
```

エディタで開いたら、1行目に「# -*- coding:utf-8 -*-」、2行目に「from config_default import *」と記入してください。

```
# -*- coding:utf-8 -*-
```

```
from config_default import *
```

さらに、以下のテーブルにある設定項目について例の様に記述してください。
例)

```
# -*- coding:utf-8 -*-
```

```
from config_default import *
```

```
HOST = '153.153.xxx.xxx'
```

```
ADMIN_ID = 'ulsystems'
```

```
ADMIN_PASSPHRASE = 'QYI89alqCGqNxRrxGUxB'
```

```
COOKIE_SECRET = 'IOT9gK8rOOYQMivqVKgQWvAKMd3x8x5scB6UKOfz'
```

```
FIREFOX_BINARY_PATH = '/home/uls/pkg/firefox/firefox'
```

```
GECKODRIVER_PATH = '/home/uls/pkg/geckodriver'
```

設定項目	説明
HOST	ServiceManagerをインストールしているサーバのホスト名またはIPアドレスを指定
ADMIN_ID	ServiceManagerの管理ユーザーのID
ADMIN_PASSPHRASE	ServiceManagerの管理ユーザーの初期パスワード
COOKIE_SECRET	ServiceManagerで使用する署名化クッキーのための秘密鍵
FIREFOX_BINARY_PATH	2.1.3.1でインストールしたFireFoxの実行ファイルの絶対パス
GECKODRIVER_PATH	2.1.3.2でインストールしたgeckodriverの絶対パス

※以降の章では設定ファイルの値を参照している場合、例えば設定項目HOSTであれば{HOST}として記述しています。

2.4. 初期化

/home/uls/ServiceManager/toolに遷移し、initialize.pyを実行してServiceManagerを初期化してください。

```
> cd /home/uls/ServiceManager/tool
```

```
> python initialize.py
```

2.5. ServiceManagerの起動

/home/uls/ServiceManager/source/に遷移し、以下のコマンドでServiceManagerを起動してください。

```
> cd /home/uls/ServiceManager/source/
```

```
> sudo ./service_manager start
```

ServiceManagerの起動確認は、ServiceManagerのログが
/home/uls/ServiceManager/source/log/log_web.txt
に書き出されますので、「ServiceManager web started」と記されていることで確
認できます。

※2.3の設定項目は、ServiceManagerの起動時に読み込まれるので、設定を変更した場
合はServiceManagerの再起動を行ってください。

2.6. ブラウザからのアクセスとログイン

サーバの起動後は、ブラウザから以下のURLにアクセスすることで、
ServiceManagerのログイン画面が表示されます。

http://{HOST}/auth

アクセス後は以下の画面が表示されます。ログインは、下図の赤枠部分にあるユーザー
IDフォームに{ADMIN_ID}を、パスワードフォームに{ADMIN_PASSPHRASE}を入
力してください

Service Manager → Login

ユーザーID、パスワード入力後は、下図の赤枠のログインボタンをクリックするこ
とでログインが可能です。

Service Manager → Login

2.7. パスフレーズの変更

ログイン後はServerManagerのメインページに遷移します（下図）。

ログインユーザーのパスワードはconfig.pyに記述されているため、最初のログイン
後に変更を行ってください（config.pyファイルには記録されません）。

Service Manager

ユーザー設定 ログアウト

Ver. 1.0 UL Systems, Inc.

上図の赤枠部分「ユーザー設定」をクリックすることで、下図の設定変更モーダルが表示されパスワードの変更を行うことができます。



赤枠部分の「現在 パスフレーズ」フォームに{ADMIN_PASSPHRASE}を、「変更 パスフレーズ」フォームに変更後のパスワードを、「再入力」フォームには確認のため「変更 パスフレーズ」フォームで入力したものと同一パスワードをそれぞれ入力してください。

入力後は下図赤枠の「変更する」ボタンをクリックすることで変更が反映されます。



2.8. ServiceManagerの停止・再起動

ServiceManagerの停止・再起動は以下のコマンドで行えます

■停止:

```
> sudo ./service_manager stop
```

■再起動:

```
> sudo ./service_manager restart
```

※停止・再起動の際は、処理中のタスクが中断されますのでご注意ください。

3. お問い合わせ

ウルシステムズ株式会社のお問い合わせフォームへ